

第4回日本服薬支援研究会/
第16回 旧簡易懸濁法研究会 総会

資 料
(修正版)

日時:2023年9月3日(日) 16:20～16:45

ZoomによるWeb会議

第4回日本服薬支援研究会/第16回旧簡易懸濁法研究会 総会

司会 毎田幹事

議長 倉田代表幹事

議事

議事録作成者選任

議事録署名人選任(2名)

担当

ア. 審議事項

2022年度事業報告

新井副代表幹事

2022年度会計収支報告

久保幹事

2022年度会計収支監査報告

宮本監事

2023年度事業計画案

新井副代表幹事

2023年度事業予算案

久保幹事

イ. 報告事項

役員

世良幹事

研究会規則改正

新井副代表幹事

簡易懸濁法認定制度報告

青木幹事

簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者表彰

世良幹事

2022 年度(2022 年 7 月～2023 年 6 月) 事業報告

[Ⅰ] 学術講演会・総会

第 3 回日本服薬支援研究会/第 15 回簡易懸濁法研究会 学術講演会・総会

日時: 2022 年 9 月 4 日(日)13:00～16:30

場所: Zoom による Web 講演会・総会

内容: 特別講演 1 13:05～13:55(講演 40 分、質疑 10 分)

「小児への服薬支援」

北海道立子ども総合医療・療育センター薬剤部 飯田祥男先生

特別講演 2 14:00～14:50(講演 40 分、質疑 10 分)

「服薬の入り口、摂食嚥下を理解しよう」

昭和大学薬学部 客員教授 倉田なおみ先生

ポスター発表 14:55～15:55

総 会 16:05～16:30

[Ⅱ] 講演会

1) 日本服薬支援研究会 2022 Web 特別講演会

日時: 2022 年 7 月 8 日(金)19:30～21:00

場所: Zoom による Web 講演会

内容: 薬学臨床推論 はじめの一步 「痛みを中心とした病歴聴取」

亀田総合病院・薬剤部 北原 加奈之 先生

2) 日本服薬支援研究会 2022 薬学臨床推論 Web 講演会(第 2 回)

日時: 2022 年 10 月 7 日(金)19:00～20:30

場所: Zoom による Web 講演会

内容: 病歴聴取と身体所見から読み解く ～嘔吐を主訴とした症例～

亀田総合病院・薬剤部 北原 加奈之 先生

3) 日本服薬支援研究会 2022 薬学臨床推論 Web 講演会(第 3 回)

日時: 2022 年 11 月 4 日(金)19:00～20:30

場所: Zoom による Web 講演会

内容: 検査所見から考える～肝障害～

亀田総合病院・薬剤部 北原 加奈之 先生

4) 日本服薬支援研究会 2022 薬学臨床推論 Web 講演会(第 4 回)

日時: 2022 年 12 月 2 日(金)19:00～20:30

場所: Zoom による Web 講演会

内容: 薬剤師に必要な心電図の基礎知識

亀田総合病院・薬剤部 北原 加奈之 先生

5) 日本服薬支援研究会 運動障害部会 Web 講演会

日時: 2023 年 1 月 19 日(木)19:00～20:30

場所: Zoom による Web 講演会

内容: 「虚弱な高齢者の服薬支援に寄り添うカタチを考える」

講師:医療法人 愛生会 くまもと温石病院 薬剤科 薬局長 森 直樹 先生

6) 日本服薬支援研究会 健康長寿部会 Web 講演会

日時: 2023 年 3 月 9 日(木)19:00～20:40

場所: Zoom による Web 講演会

内容: 高齢者の ADL に影響を与える薬剤への服薬支援を考える
～フレイルやサルコペニアを考え、褥瘡を予防しよう～

国立研究開発 国立長寿医療研究センター 薬剤部 溝神文博先生

7) 日本服薬支援研究会 がんケア部会 Web 講演会

日時: 2023 年 6 月 22 日(木)19:00～20:40

場所: Zoom による Web 講演会

内容: 講演 1 19:00～19:50 (講演 40 分 質疑応答 10 分)

「がん患者の服薬支援を考える」

東京医科大学八王子医療センター薬剤部 興石 徹 先生

講演 2 19:50～20:40 (講演 40 分 質疑応答 10 分)

「がん患者を支える薬局・薬剤師の役割」

帝京平成大学 薬学部 教授 小原 道子 先生

[Ⅲ]実技セミナー

1) 第 6 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

日時: 2022 年 8 月 7 日(日)10:00～15:30(55 分の休憩含む)

場所: Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

2) 九州 PEG サミット in 熊本(2022 年 第 10 回)

日時: 2022 年 11 月 26 日(土)、27 日(日)

場所: 熊本市国際交流会館

内容: 実技セミナーのブース開催

3) 第 7 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

日時: 2023 年 2 月 23 日(木・祝)10:00～15:30(55 分の休憩含む)

場所: Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

4) 第 8 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

日時: 2023 年 5 月 28 日(日)9:55～15:30(55 分の休憩含む)

場所: Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

5) 秋田県薬剤師会 簡易懸濁法 Web 実技セミナー(1 回目)

日時: 2023 年 1 月 22 日(日) 9:55～15:30(55 分の休憩含む)

場所: Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

6) 簡易懸濁法実技セミナー「ミニ」 in 金沢

日時: 2023 年 3 月 12 日(日)13:00～15:00

場所: 北陸大学薬学部実験薬学棟

内容: 講義・実習指導 倉田なおみ先生(講義 60 分、実習指導 60 分)

7) 秋田県薬剤師会 簡易懸濁法 Web 実技セミナー(2 回目)

日時: 2023 年 6 月 11 日(日) 9:55~15:30(55 分の休憩含む)

場所: Zoom Meeting を用いた LIVE 配信

8) 和泉市薬剤師会研修会「簡易懸濁法実技セミナー」

日時: 2023 年 6 月 18 日(日) 13:00~16:00

場所: 和泉市立保健センター

内容: 講演: 倉田なおみ先生、実技セミナー: 倉田なおみ先生、橋本佳奈先生

[IV] 後援

1) 第 15 回 日本在宅薬学会学術大会

日時: 2022 年 7 月 17 日(日)、18 日(月・祝)

場所: 札幌コンベンションセンター

2) 目からウロコが落ちる勉強会シリーズ第 33 弾(ハイブリット開催)

日時: 2022 年 10 月 26(水) 17:50~19:35

場所: ハイブリット形式開催 ※現地: 東邦大学 医学部 3 号館 地下 1 階 第 4 講義室

内容: 「病態に応じた慢性便秘症診療-食物繊維とプロバイオティクスの有用性と限界-」他

3) 第 7 回 日本老年薬学会学術大会

日時: 2023 年 5 月 20 日(土)、21 日(日)

場所: アクロス福岡

[V] 簡易懸濁法認定制度

1) 簡易懸濁法指導薬剤師試験

日時: 2022 年 11 月 3 日(木・祝)、2023 年 5 月 28 日(日)

場所: Zoom による実技試験

合格: 2 名(2022 年 12 月 1 日付)、3 名(2023 年 6 月 9 日付)

2) 簡易懸濁法認定薬剤師試験

日時: 2022 年 11 月 6 日(日) 9:00~10:30

場所: Zoom による筆記試験

合格: 17 名(2022 年 12 月 1 日付)

3) Web 実技セミナー認定薬剤師研修

研究会主催の Web 実技セミナー([Ⅲ]実技セミナー)にて、簡易懸濁法認定薬剤師がファシリテータを体験。

[VI]その他

1)2023 年 2 月 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 10、No. 2 発行

2) 書籍割引販売

「介護施設・在宅医療のための食事状況から導く、薬の飲み方ガイド」(2023 年 5 月発刊)

編著:倉田 なおみ(昭和大学薬学部客員教授)、(株)社会保険研究所

3080 円→1500 円

2022年度 日本服薬支援研究会 収支報告書 (2022年7月1日～2023年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2022年度	2022年度	差 異	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
会費収入		5,581,000	4,864,000	-717,000	
	正会員会費	4,125,000	3,960,000	-165,000	5,000円×792件(当年度749件、過年度35件、前受金8件)
	学生会員会費	6,000	4,000	-2,000	2,000円×2件(当年度1件、前受金1件)
	賛助会員会費	1,450,000	900,000	-550,000	50,000円×18口(当年度)
		2,063,000	1,777,000	-286,000	
事業収入	講演会費	578,000	573,000	-5,000	・2022Web特別講演会:JHOP会員500円×13名、非会員1,000円×5名 ・第2回薬学臨床推論Web講演会:会員1,000円×57名、J-HOP会員1,500円×9名、非会員2,000円×6名 ・第3回薬学臨床推論Web講演会:会員1,000円×60名、J-HOP会員1,500円×3名、非会員2,000円×6名 ・第4回薬学臨床推論Web講演会:会員1,000円×50名、J-HOP会員1,500円×24名、非会員2,000円×18名 ・運動障害部会 Web講演会:会員1,000円×42名、J-HOP会員1,500円×5名、非会員2,000円×2名 ・健康長寿部会 Web講演会:会員1,000円×73名、J-HOP会員1,500円×11名、非会員2,000円×3名 ・がんケア部会 Web講演会:会員1,000円×83名、J-HOP会員1,500円×15名、非会員2,000円×13名
	学術大会・総会費	110,000	82,000	-28,000	会員500円×92名、J-HOP会員1,000円×8名、非会員2,000円×14名
	実技研修会費	1,160,000	802,000	-358,000	・第6回簡易懸濁法Web実技セミナー:会員・賛助会員6,000円×24名、非会員11,000円×9名、認定薬剤師研修8,000円×5名、追加会員6,000円×1名 ・第7回簡易懸濁法Web実技セミナー:会員・賛助会員6,000円×31名、J-HOP会員8,500円×2名、非会員11,000円×4名、認定薬剤師研修8,000円×2名 ・第8回簡易懸濁法Web実技セミナー:会員・賛助会員6,000円×18名、J-HOP会員8,500円×6名、非会員11,000円×5名 ・専門薬剤師受験のための研修会第8回 簡易懸濁法Web実技セミナー受講費:研修費8,000円×1名、事前連絡した試験対象者(資料費)3,000円×4名 ・専門薬剤師受験のための研修会 秋田県薬剤師会簡易懸濁法Web実技セミナー受講費:研修費8,000円×2名
	認定事業費	215,000	320,000	105,000	認定薬剤師更新申請料5,000円×3名、認定薬剤師新規申請料5,000円×36名 認定指導薬剤師新規申請料10,000円×7名、認定薬剤師研修参加費3,000円×5名 認定単位発行手数料
	その他収入	0	145,186	145,186	利息、預り金
当期収入合計(A)		7,644,000	6,786,186	-857,814	
前期繰越収支差額		7,725,554	7,940,794	215,240	2022年度収支予算案『前期繰越収支差額』の転記
収入合計(B)		15,369,554	14,726,980	-642,574	

【支出の部】

勘定科目		2022年度	2022年度	差 異	
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
事業費支出		2,590,446	1,950,863	-639,583	
	講演会費	575,448	528,739	-46,709	Web特別講演会:謝金 薬学臨床推論Web講演会:謝金 運動障害部会Web講演会:謝金 健康長寿部会Web講演会:謝金 がんケア講演会:謝金 日本薬剤師研修センター研修実施機関認定申請費
	学術大会・総会費	165,630	127,669	-37,961	
	実技研修会費	1,268,796	665,488	-603,308	第5回Web実技セミナー:参加証送付郵便代 第6回Web実技セミナー:謝金、交通費、資料代、日当、参加証送付郵便代 第7回Web実技セミナー:事前打合せ費、謝金、印刷発送費、参加証送付郵便代 第8回Web実技セミナー:事前打合せ費、謝金、印刷発送費 秋田県薬剤師会Web実技セミナー:事前打合せ費 日本薬剤師研修センター研修実施機関認定申請費
	認定事業費	316,572	364,967	48,395	認定試験:交通費、謝金、資料封入発送作業費
	簡易懸濁可否情報共有システム保守費	264,000	264,000	0	月額22,000円(12ヶ月分)
	ホームページ改修費用	0	0	0	
管理費支出		4,005,788	3,642,884	-362,904	
	幹事会・委員会費	302,000	147,000	-155,000	・Web幹事会(8回) ・第3日本服薬支援研究会/第15回旧簡易懸濁法研究会 幹事会web会議(1回) ・実技試験後のフィードバックweb会議(1回) ・認定制度委員会web会議(4回) ・簡易懸濁法認定薬剤師試験監督者web会議(1回) ・簡易懸濁法指導薬剤師合否判定web会議(1回)
	事務消耗品費	716,598	688,626	-27,972	会報制作(2回)、年会費請求時封筒代、賞状用紙等
	通信費	221,610	104,691	-116,919	後納郵便代、レターバック代、メール便代、切手代
	人件費	2,655,950	2,344,650	-311,300	株式会社アクセライト事務委託料(会員・庶務・会計業務)、作業委託料
	租税公課	0	145,178	145,178	源泉税
	原稿料	25,000	0	-25,000	
	雑費	84,630	212,739	128,109	振込手数料、Peatix販売手数料、クオカード購入費(共有システムの表彰)
	予備費支出	900,000	5,214	-894,786	簡易懸濁法M第2版特別販売(6月精算分3冊)
	その他支出	0	0	0	
当期支出合計(C)		7,496,234	5,598,961	-1,897,273	
当期収支差額(A)-(C)		147,766	1,187,225	1,039,459	
次期繰越収支差額(B)-(C)		7,873,320	9,128,019	1,254,699	

上記収支報告書について監査した結果、適当と認めます。

2023年9月1日

監事

座間 未義人



2023年8月21日

監事

喜本 悦子



2023 年度(2023 年 7 月～2024 年 6 月)事業計画

●年間行事予定

<2023 年>

- 7 月中旬 研究会 2023 年度年会費請求書送付
- 8 月下旬 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 11、No. 1 発行
- 7 月 25 日 2023Web 講演会 4 回シリーズ
ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
薬剤師が栄養を基礎から考える金曜日
1 回目「薬剤師が栄養の知識を身につける意義を楽しく実体験できるおはなし」
浅ノ川総合病院薬剤部、NST 専門療法士(薬剤師) 東 敬一郎 先生
- 8 月 6 日 第 9 回簡易懸濁法Web実技セミナー 担当:宮本悦子・毎田千恵子幹事
- 9 月 3 日 第 4 回日本服薬支援研究会/第 16 回簡易懸濁法研究会 学術講演会・総会
大会長 岸本 真幹事
ZoomによるWeb開催 13:00～16:45 特別講演、一般講演(ポスター)、総会
特別講演 1: 「薬剤師が 10 年後もキラキラしているために必要なこと
～ 薬のリスクから患者を守る!! ～」
医療安全システムデザイナー 古川裕之先生
特別講演 2: 「その症状もう一度考えてみませんか?
～薬剤師による栄養障害への取組～」
上越地域医療センター病院薬剤科 宮川哲也先生
招待講演: 「旅立った子どもが苦しんだこと～ 剤形のハードル～」
患者家族 鈴木隆行様
- 8 月 16 日～9 月 30 日
簡易懸濁法認定薬剤師・指導薬剤師 新規・更新 申請期間
- 8 月 25 日 2023Web 講演会 4 回シリーズ
ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
薬剤師が栄養を基礎から考える金曜日
2 回目「薬剤師が栄養療法を考える上で知っておいてほしいこと」
浅ノ川総合病院薬剤部、NST 専門療法士(薬剤師) 東 敬一郎 先生
- 9 月 15 日 2023Web 講演会 4 回シリーズ
ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
薬剤師が栄養を基礎から考える金曜日
3 回目「病態別栄養は実は難しくないんだと実感できるおなはし」
浅ノ川総合病院薬剤部、NST 専門療法士(薬剤師) 東 敬一郎 先生
- 9 月 8 日 沖縄県薬剤師会北部地区薬剤師会実技セミナー
時間 9:30～21:00 講義 45 分、実技 45 分
研究会副代表幹事 石田志朗 先生

- 場所 沖縄県立北部病院 2 階会議室
- 9 月 9 日 2023 年度 沖縄県病院薬剤師会 NST 分科会～服薬支援のための簡易懸濁法～
時間 14:00～19:00 講義 1 時間、実技セミナー2 時間、簡易懸濁法認定制度 2 単位
研究会副代表幹事 石田志朗 先生
- 9 月 24 日 日本服薬支援研究会、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 (J-HOP) 中四国支部 共同開催
正しい簡易懸濁法を身に付けるための実技セミナー
日時:2023 年 9 月 24 日(日) 13:00～16:10
場所:徳島文理大学香川薬学部実習棟3階(香川県さぬき市志度 1314-1)
内容:13:00～ 講 義「簡易懸濁法のための製剤学の基礎」
14:10～ 簡易懸濁法の実技実習
講師・ファシリテーター 石田志朗(日本服薬支援研究会 副代表幹事)、
川添哲嗣(J-Hop 副会長)、
簡易懸濁法指導薬剤師
- 10 月 13 日 2023Web 講演会 4 回シリーズ
ZoomによるWeb開催 19:00～20:30
薬剤師が栄養を基礎から考える金曜日
4 回目「健康寿命の増進のために薬剤師がすべきこと、できること、
そしてもたらされる未来とは」
浅ノ川総合病院薬剤部、NST 専門療法士(薬剤師) 東 敬一朗 先生
- 10 月 22 日 簡易懸濁法 認定薬剤師Web試験 8:45～11:30
- 10 月 29 日 簡易懸濁法 指導薬剤師Web試験 9:00～17:00
- 11 月 11 日(土)～12 日(日)
PDN セミナー 第 11 回 九州PEGサミット in 指宿 (協賛)
場所:指宿市民会館(鹿児島県指宿市東方 9300-1)
簡易懸濁法の実習用ブースを開設
- 11 月 16 日 Web 講演会
ZoomによるWeb開催 19:00～20:40
薬剤師が栄養を基礎から考える金曜日 続 編
「小児の特徴と服薬支援および栄養支援
ー妊娠期からの子どもの健やかな成長・発達をめざしてー」
地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
臨床検査科主任部長・大阪府移行期医療支援センター長
位田 忍 先生
- 12 月 簡易懸濁法 認定薬剤師・指導薬剤師の認定試験および更新の結果発表

<2024 年>

- 2 月 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 11、No. 2 発行
- 2 月 4 日 第 10 回簡易懸濁法Web実技セミナー 担当:熊木良太幹事・倉田なおみ代表幹事

- 3 月 簡易懸濁法に関する最近の知見を紹介(仮題) 摂食嚥下障害部会 担当:石田志朗幹事
ZoomによるWeb開催 19:00~20:30
- 3 月 10 日 第 6 回簡易懸濁法実技セミナーin 金沢 (共催) 10:00~15:30
講義・実習指導:倉田なおみ代表幹事
- 5 月 18 日~19 日
第 8 回 日本老年薬学会学術大会 簡易懸濁法実技セミナー開催(協賛)

●委員会

<生涯教育部・簡易懸濁法認定制度委員会>

1) 簡易懸濁法認定制度の充実

<2023 年>

- 7 月 簡易懸濁法認定制度ホームページ更新
- 8 月~9 月末 簡易懸濁法認定薬剤師、簡易懸濁法指導薬剤師の募集(新規・更新)
- 10 月 書類審査
簡易懸濁法認定薬剤師 Web 試験・評価
簡易懸濁法指導薬剤師 Web 実技試験・評価
- 12 月 認定試験判定とフィードバック後の可否通知、更新判定と通知、認定証発送

<2024 年>

- 2 月~6 月 簡易懸濁法認定制度の充実(HP 更新を含む)に向けた検討・整備

2) 認定薬剤師の育成

簡易懸濁法 Web 実技セミナー実施時には認定薬剤師研修を行う(2~3 回/年)

<生涯教育部・実技セミナー検討委員会>

活動目的 質の高い Web 実技セミナーを確立し、評価・改善を検討する。

活動目標 現在の Web 実技セミナーの評価・ブラッシュアップの実施

より発展的な内容の Web 実技セミナーの検討

アクションプラン

1) Web 実技セミナーの評価・ブラッシュアップ

- ・参加者のアンケート結果を精査
- ・セミナーの所要時間、実施内容、事前準備方法等について Web 会議を開催し、評価を行う。

2) アドバンスド簡易懸濁法 Web 実技セミナーの検討

- ・実施内容(形式)、所要時間、参加対象、ファシリテータの養成などについて、Web 会議を実施し、検討していく。

<広報部・会誌委員会>

- 1) 2023 年度研究会会誌 Vol. 11、No. 1を 2023 年 8 月に発行

- 2) 次回の Vol. 11、No. 2 は 2024 年 2 月発行を予定

3) 服薬支援研究会の論文投稿について

服薬支援に関する論文を広く公募、服薬支援研究会会員に対してメールにて投稿を依頼。

<広報部・HP委員会>

- 1) 簡易懸濁可否情報共有システムデータの随時更新
- 2) 講演会・研修会等の HP への掲載
- 3) 新 HP への更新の計画

<総務部>

- 1) 一般社団法人、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 (J-HOP) との連携の準備
 - ・ 簡易懸濁法実技セミナーおよび講演会等の会員への広報
 - ・ J-HOP の地域ブロックにおける簡易懸濁法実技セミナーの実施
- 2) 会員管理をオンライン (クラウド型学会管理ツール) への移行の検討

●部 会

<運動障害>

薬を包装から取り出す際や使用する際に、片麻痺、パーキンソン病、関節リウマチなどによる障害や、抗がん薬による爪囲炎等に伴う障害による服薬困難・使用困難に対して、その障害に合わせた支援について、ツールの開発を含め行うため、2023 年度については以下の事業について実施する。

- 1) 運動機能障害に対する服薬支援の現状について把握するための会員に向けた調査の実施
- 2) 上市されている服薬支援に関するツールを把握するための調査
- 3) 運動機能障害と服薬支援に関する部門研修会の次年度開催を計画 (WEB 形式)

これらの現状調査を行うことにより、運動障害による患者の服薬困難へ対する薬剤師の関心を高める。

<医療安全>

- 1) 医療安全部会では、すべての患者に対して安全な服薬を目指している。そのため、PMDA や厚労省から発出された医薬品や服薬に関する情報について定期的に (1 か月に 1 回) 確認を行い、部会内で重要であると判断した場合には、研究会のメーリングリストで情報共有する。なお、メーリングリストへの掲載適否については、部会長が部員にメールを通じて確認を行い、部員の承認を得る。

<摂食嚥下障害>

- 1) 簡易懸濁法に関する最近の研究や論文を紹介して、会員との意見交換ができる Web 研修会の開催を 2024 年 3 月に計画。

<小 児>

目的 乳幼児における薬剤の経管投与時の課題抽出と解決方法の検討

目標 乳幼児におけるチューブ通過性試験条件の確立

乳幼児におけるチューブ閉塞の要因解析と閉塞防止方法の検討 アクションプラン

1) コアメンバーの招集

熊木、原田の他、現場の薬剤師として4名のメンバーに打診予定
必要に応じて随時追加予定

2) コアメンバーによる検討計画の立案

- 1) 特性要因図(フィッシュボーン分析)の作成
- 2) フォーカスグループで議論すべき課題の整理

3) フォーカスグループによるグループ討議

実際に投薬に携わる看護師・家族の方を募集(15名程度:1グループ5名×3グループ)し、
ブレインストーミングを実施、KJ法で分析予定

4) チューブ通過性試験およびチューブ閉塞時の理化学試験条件の確立

- ・ 経鼻チューブ通過性試験(服薬支援研究会の有志)
- ・ 実際の条件を考慮した試験(昭和大薬剤学部門)→弁、酸、相互作用の影響

5) アウトプット

- ・ 研究会総会および会誌での報告
- ・ 経管投与ハンドブック第5版への掲載
- ・ 学術雑誌への論文投稿

<がんケア>

会誌やWeb講習会などを通じて情報発信を行う

- 内容
- ・ がんサバイバーが行うコロナ禍を過ごす工夫
 - ・ がん末期の患者さんの口臭対策
 - ・ 乳がん患者への入浴着の啓発
 - ・ 抗がん剤により生じる不快な副作用症状(末梢神経障害、手足症候群、脱毛、味覚障害など)についての予防法、対策法、シャンプーの選び方
 - ・ 内服抗がん剤などハザードドラッグスによる汚染状況と曝露対策
 - ・ がん検診の推進について

<健康長寿(未病・予防)>

会誌やWeb講習会などを通じて情報発信を行う

- 内容
- ・ 健康長寿(未病・予防)を長く維持するため、フレイルやサルコペニア、褥瘡などについて理解を深め、より良い服薬支援につなげる。

<その他>

1) 簡易懸濁法DVDの活用

- ・ 賛助会員、製薬企業へ、簡易懸濁法の正しい理解のために配布
- ・ 簡易懸濁法認定薬剤師の研修用

2023年度 日本服薬支援研究会 収支予算(案)
(2023年7月1日～2024年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2022年度	2022年度	予実	2023年度	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		予 算 案	
会費収入		5,581,000	4,984,000	87.2%	5,184,000	
	正会員会費	4,125,000	3,960,000	96.0%	4,130,000	当年度分、5,000円 × 786件 ※純増率103%、過年度分、5,000円 × 40件
	学生会員会費	6,000	4,000	66.7%	4,000	2,000円 × 2件
	賛助会員会費	1,450,000	900,000	62.1%	1,050,000	50,000円 × 21口(15団体)
事業収入		2,068,000	1,777,000	86.1%	2,248,282	
	講演会費	578,000	573,000	99.1%	700,000	【運動障害部会】Web講演会参加費／計90,000円 ・会員1,000円×65名、J-HOP会員1,500円×10名、非会員2,000円×5名 計80名 【がんケア部会】Web講演会参加費／計90,000円 ・会員1,000円×65名、J-HOP会員1,500円×10名、非会員2,000円×5名 計80名 【医療安全部門】Web講演会参加費／計75,000円 ・会員1,000円×50名、J-HOP1,500円×10名、非会員2,000円×5名 計65名 【摂食嚥下部門】Web講演会参加費／計70,000円 ・会員1,000円×45名、J-HOP1,500円×10名、非会員2,000円×5名 計60名 【その他講演会(栄養)】Web講演会(4回)／計280,000円 ・(会員1,000円×45名、J-HOP1,500円×10名、非会員2,000円×5名 計60名)×4回 【その他講演会(小児栄養)】Web講演会(1回)／計95,000円 ・会員1,000円×60名、J-HOP1,500円×10名、非会員2,000円×10名 計80名
	学術大会・総会費	110,000	82,000	74.5%	189,732	・会員500円×70名、J-HOP1,000円×10名、非会員2,000円×5名 計85名 ・予備費 134,732円
	実技研修会費	1,160,000	802,000	69.1%	1,081,500	【Web実技セミナー委員会】Web実技セミナー(実技セミナー3回)／計601,500円 ・(会員6,000円×20名 J-HOP8,500円×3名 非会員11,000円×5名 = 200,500円) ×3回 【総務部】Web実技セミナー／計480,000円 ・J-HOP共催実技セミナー①(中四国、香川開催) 会員、J-HOP3,000円×30名、非会員5,000円×5名 = 115,000円 ・J-HOP共催実技セミナー②(未定) 会員、J-HOP3,000円×30名、非会員5,000円×5名 = 115,000円 予備費 = 250,000円
	認定事業費	215,000	320,000	148.8%	272,000	【簡易懸濁法認定制度委員会】2023年度認定制度／計272,000円 ・認定薬剤師新規審査料 (@5,000円×10名) = 50,000円 ・認定薬剤師新規登録料 (@5,000円×10名) = 50,000円 ・認定薬剤師更新審査・登録料 (@5,000円×8名) = 40,000円 ・指導薬剤師新規審査料 (@10,000円×4名) = 40,000円 ・指導薬剤師新規登録料 (@5,000円×4名) = 20,000円 ・研修参加費 (@8,000円×3名×3回) = 72,000円
その他収入		0	145,186		0	
当期収入合計(A)		7,644,000	6,786,186	88.8%	7,427,232	
前期繰越収支差額		7,725,554	7,940,794	102.8%	9,128,019	
収入合計(B)		15,369,554	14,726,980	95.8%	16,555,251	

【支出の部】

(単位:円)

勘定科目		2022年度	2022年度	予実	2023年度	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		予 算 案	
事業費支出		2,590,446	1,950,863	75.3%	2,965,849	
	講演会費	575,448	528,739	91.9%	734,946	Web講演会／謝金、Zoom年間契約料、Peatix手数料、日本薬剤師研修センター単位認定申請費
	学術大会・総会費	165,630	127,669	77.1%	186,745	学術講演会・総会(Web開催)／謝金、日当、Zoom料、Peatix手数料、日本薬剤師研修センター単位認定申請料
	実技研修会費	1,268,796	665,488	52.5%	1,446,617	Web実技セミナー(3回)、J-HOP共催実技セミナー(2回)／謝金、旅費交通費、日当、資料費、会場費、印刷代
	認定事業費	316,572	364,967	115.3%	333,541	
	簡易懸濁可否情報共有システム保守費	264,000	264,000	100.0%	264,000	簡易懸濁可否情報共有システム保守費:22,000円(税込)／月 × 12カ月分
	ホームページ改修費用	0	0		0	
管理費支出		4,005,788	3,642,884	90.9%	4,616,080	
	幹事会・委員会費	302,000	147,000	48.7%	872,000	・Web幹事会(12名参加×12回) ・対面幹事会／旅費交通費、会場費、会議飲食費 ・委員会等Web会議費
	事務消耗品費	716,598	688,626	96.1%	710,000	会報作成費用(2回)、発送用封筒購入費
	通信費	221,610	104,691	47.2%	115,600	印刷、郵送費、発送費用
	人件費	2,655,950	2,344,650	88.3%	2,842,400	アクセライト社業務委託費用、税理士事務所委託費用
	租税公課	0	145,178		0	源泉徴収税
	原稿料	25,000	0	0.0%	25,000	原稿執筆料(図書券)
	雑費	84,630	212,739	251.4%	51,030	振込手数料、共有システム表彰費(クオカード)
予備費	予備費	900,000	5,214	0.6%	875,000	「くすりの飲み方ガイド」割引販売／研究会負担分
その他支出		0	0		13,750	電子印鑑システム費
当期支出合計(C)		7,496,234	5,598,961	74.7%	7,970,629	
当期収支差額(A)－(C)		147,766	1,187,225		-543,397	
次期繰越収支差額(B)－(C)		7,878,820	9,128,019	115.9%	8,584,622	

2023 年度 日本服薬支援研究会（旧簡易懸濁法研究会）役員

1. 代表幹事	昭和大学薬学部	倉田 なおみ
2. 副代表幹事	大洗海岸病院薬剤部 徳島文理大学香川薬学部	新井 克明 石田 志朗
3. 幹事	アルファ調剤薬局 フローラ薬局 東京薬科大学薬学部 霧島市立医師会医療センター薬剤部 武蔵野大学薬学部 東京医科大学八王子医療センター薬剤部 済生会横浜市南部病院入退院支援センター 北里大学薬学部 昭和大学薬学部 兵庫医科大学薬学部 岡山大学病院薬剤部 金沢医科大学病院薬剤部 北陸大学薬学部 新潟市民病院薬剤部	天野 学 （所属変更） 篠原 久仁子 秋山 滋男 岸本 真 世良 庄司 奥石 徹 飯田 純一 青木 学一 熊木 良太 橋本 佳奈 久保 和子 中田 いちこ 毎田 千恵子 武藤 浩司（新幹事）
4. 監事	（特非）健康環境教育の会 岡山大学病院薬剤部	宮本 悦子 座間味 義人（新監事）
5. 顧問	益田赤十字病院薬剤部 鳴門山上病院薬剤科 徳島文理大学薬学部名誉教授 千葉西総合病院薬剤科 和泉市立総合医療センター薬剤部 岐阜薬科大学 吉備高原ルミエール病院薬剤科 有隣病院薬剤科 元第一三共株式会社研究開発部	西園 憲郎 賀勢 泰子 岡野 善郎 小茂田 昌代 藤原 琴 寺町 ひとみ 安藤 哲信 近藤 幸男 今野 勉
6. 事務局	株式会社アクセライト	

赤字：改訂

2023 年度 日本服薬支援研究会/旧簡易懸濁法研究会 組織

【部・委員会】担当幹事

1. 会計部 久保和子、世良庄司
2. 総務部 石田志朗、熊木良太、毎田千恵子
・ 規律委員会 世良庄司、倉田なおみ
3. 広報部
・ 会誌委員会 岸本 真、秋山滋男、中田いちこ
・ HP 委員会 世良庄司
4. 学術部
・ 学術集会委員会 各幹事、総務部
・ 学会レポーター係り
・ 調査研究委員会 奥石 徹、新井克明、秋山滋男、世良庄司
中田いちこ (Q&A)
5. 生涯教育部 新井克明
・ 実技セミナー検討委員会 熊木良太、橋本佳奈、秋山滋男、
新井克明、岸本 真、石田志朗、
倉田なおみ
・ 簡易懸濁法認定制度委員会
青木学一、奥石 徹、篠原久仁子、
飯田純一、橋本佳奈
6. 監事 宮本悦子、座間味義人
7. 事務局 世良庄司、株式会社アクセライト
(東京都文京区本郷 3-5-4 朝日中山ビル 5 階)

アンダーライン：委員長、赤字：本年度変更

【部会】担当

- | | |
|------------|--|
| 1. 摂食・嚥下障害 | <u>石田志朗</u> 、岸本 真、天野 学、 |
| 2. 運動障害 | <u>岸本 真</u> 、篠原久仁子、毎田千恵子 |
| 3. 健康長寿 | <u>飯田純一</u> 、橋本佳奈 |
| 4. がんケア | <u>青木学一</u> 、奥石 徹、久保和子、
小原道子（帝京平成大学薬学部） |
| 5. 医療安全 | <u>秋山滋男</u> 、新井克明、中田いちこ |
| 6. 小児 | <u>熊木良太</u> 、原田 努（昭和大学薬学部） |

アンダーライン：部会長

日本服薬支援研究会 会則

(総則・名称)

第1条 本会は日本服薬支援研究会と称する。

英名は、The Japan Association for Patient Support on Medication とする。

(目的)

第2条 本会は患者またはその看護に当たっている家族及び医療従事者に対する服薬支援を中心に、摂食・嚥下障害、運動障害、健康寿命、小児、高齢者、がんケア、医療安全等の分野において、薬を安全かつ効果的に投与することに関して研究し、その成果を普及させる。そして、患者の医薬品及び医療を主とした生活全般を支援することによりQOLの向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究会の開催など、簡易懸濁法の研究・普及を含む患者の服薬支援及び医薬品および医療に関連する生活支援に関する事業
- (2) 医療・介護現場における問題点の抽出、医療・介護施設及び研究機関(大学・企業など)との連携による研究
- (3) 医療・介護施設間の連携強化による服薬支援・生活支援実施の見学幹旋業務
- (4) 国内外関係学会との連携および国際交流
- (5) 機関誌その他刊行物の発行
- (6) その他、本会発展のために必要な事業

(構成・会員)

第4条 本会は本会の目的、事業に賛同し、所定の手続きを行った次の会員をもって構成する。

- (1) 一般会員：本研究会の目的に賛同する個人
 - (2) 学生会員：本研究会の目的に賛同する学部・大学院在学中の学生
なお、就職しての大学院生（社会人大学院生）は一般会員とする。
 - (3) 賛助会員：本研究会の目的に賛同し、本会の事業を援助する企業・団体または個人
2. 本会に入会を希望する者は申込用紙に必要事項を記入し、研究会事務局に届け出た者とする。以上の手続きを行い、役員の承認を得た上で会員細則に規定する会費を納入した者を会員とする。
 3. 会員の特典については、別途会員細則に規定する。
 4. その他、年会費、入会の期間、更新、休会、退会、再入会等については、別途細則に規定する。

(役員)

第5条 本会に次の役員をおく。

代表幹事 1名
副代表幹事 2名
幹事 若干名
監事 2名
事務局長 1名
顧問 若干名

第6条 役員の職務

代表幹事は本会を統括し、幹事会ならびに総会では議長となる。

2. 幹事は幹事会を構成し、学術研究会をはじめとする本会事業の運営方針を立案しこれを推進する。なお、会の効率よい運営のため、学術事業委員会、渉外広報委員会、財務委員会、総務委員会、生涯教育委員会に幹事若干名を置くこととする。
3. ~~会計~~監事は本会の会計ならびに幹事の職務執行を監査し、監査報告を作成する。~~を監査する。~~

第7条 役員の選出および任期

代表幹事および副代表幹事は、幹事の互選により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。

2. 幹事、監事及び事務局長は、幹事会の推薦により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。
3. 顧問は、幹事会の推薦により選出されるものとする。

第8条 幹事会

幹事会は必要に応じて開催するが、電子メールやWeb会議ツールを用いての会議も可能とする。

(部 会)

第9条

当研究会は、調査・研究等の学術事業の執行のために必要があるときは、各種の部会を設けることができる。

2. 各部会の部会長及び委員は、幹事会の承認を得て代表幹事が委嘱する。
3. 各部会の任務、構成及び運営に必要な事項は、幹事会の決議により別に定める。

(学術集会)

第10条

当研究会は、幹事会の決議を経て、学術集会を開催する。

2. 前項に規定する学術集会のほか、あらかじめ幹事会の決議を経たうえで、講演会、研究会等を開催することができる。
3. 学術集会開催にあたり、幹事会の決議をもって会員の中から学術集会大会長を選任する。
4. 学術集会大会長の任期は、前年の学術集会が終了した時から自らが主宰する学術集会が終了した時までとする。

(会計・会費)

第11条 本会の経費は会費・寄付金・その他の収入をもってこれに充てる。本会の収支決算書は会計年度終了後に事務局が作成し、会計監事の監査を受けた上で、幹事会の承認を得て会員に報告しなければならない。

2. 会員は会則細則に定める年会費を納める。会費は主として本会の運営に充当されるものとする。なお、会費は幹事会で議決し、決定するものとする。
3. 会計年度は毎年7月1日から6月30日までとする。

(事務局)

第12条 事務局は代表幹事のもとに、会員名簿の整理、会費の管理等研究会の運営に必要な諸事務をおこなう。研究会事務局の所在地等は細則に示す。

(会則の変更)

第13条 会則の変更は幹事会の議を経て、会員に報告するものとする。

2. 幹事会は2/3以上の幹事の出席(委任状を含む)をもって成立し、出席者(委任状を含む)の過半数で議決される。

付則

本会則は、2019年6月1日から施行する。

細則、第3条、第3項を追加 2020年4月7日

会則の第4条及び細則の第条を改正、別途「会員細則」を設けた。 2020年9月9日

細則、第4条を変更 2021年4月1日

会則の第7条を変更 2022年8月28日

会則の第6条の3を変更 2023年7月7日

細則

第1条 本会の運営に必要な事項は、この細則に定める。

第2条 細則の立案及び修正は、会則第13条により幹事会が行う。

第3条 会則第4条に定める会員の特典、入会・期間・休会・退会・再入会および会費は別途「会員細則」により定める。

第4条 研究会事務局の所在地等

株式会社アクセライト内

東京都文京区本郷3-5-4 朝日中山ビル5F

E-mail:fukuyakushien-office@umin.ac.jp

簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者表彰

1 位 青木 学一 先生

2 位 羽太 光範 先生